

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和3年2月18日
発信課	経済部旭川市旭山動物園
担当者	松尾 英将
連絡先	電 話 0166-36-1104
	F A X 0166-36-1406
	E-mail zookoho@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他
日 程	令和3年2月～3月
発表項目（行事名）	企画「いきものと音楽の世界」の実施について
概 要 （趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。）	<p>NHK交響楽団メンバーを主に構成されるNPO法人「ハマのJACK（理事長：三又治彦）」様から提案をいただき、双方協力のもとで実施します。</p> <p>昨今における新型コロナウイルスの状況下において、多くの子どもたちは、動物園や水族館など「生き物」に接する機会が減っている傾向にあることから、子どもたちに、見て・聴いて・想像する感性を養ってもらうことを目的に企画提案されたもので、横浜市立山内小学校5年生の生徒100名もこの企画に参加します。</p> <p>内容としては、本園から動物の動画を提供して、その動画を小学生に見せて、感じ取ったありのままの動物を絵で表現します。それに併せて、プロの音楽家らにより、その動画から動物の特徴や魅力を音楽で表現（作曲・収録）いただき、「いきもの」と「音楽」を融合させることで、より効果的に子どもたちの感性に訴えかけて、「生命」について考える一つのきっかけにしていくものです。</p> <p>本園としても、動画、描かれた絵、音楽がどのように融合して、どのような効果や広がりを生み出すものか大変関心のあるところであり、この取組について、広く認知していただければと考えておりますので、取材・報道、よろしく申し上げます。</p> <p>なお、今後の予定として、令和3年2月19日に楽曲の収録（都内スタジオ）、小学生と本園のリモート交流を2月25日午前9時20分から行います。その後の、絵を描く、動画と音楽の融合の実施日時については現時点では未定ですので、担当まで直接お問い合わせください。</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 企画概要 ・ 無
報道（取材）に当たってのお願い	事前にご連絡をお願いします。
備 考	

「いきものと音楽の世界」

企画概要

1 経過

NPO 法人ハマの JACK（理事長 三又治彦）は、障害がある方や子ども達を中心とした広い一般市民に会場へ足を運んでもらい、生の音を聴いてもらう為、地域社会に根ざしたクラシック音楽普及活動を行うとともに、若手音楽家の育成にも力を入れている。

家族で楽しむコンサートについては、音楽だけではなく、文学や美術、舞踏、食文化など文化を総合的に楽しむ空間を作ることの重きにおいて活動し、学校訪問事業においても、ただ聞かせるだけではなく、楽器を作り、一緒にアンサンブルをするなど工夫をし「子ども達が文化に参加する、体験できる」を指針としているが、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、多くの子どもたちは、動物園や水族館など「生き物」に接する機会も減ってきている傾向にあると感じている。

それらのことから、我々の本業である音楽と動物を融合させ、見て、聴いて、想像する感性を養っていただくことを目的に、「いきものと音楽の世界」という企画を考案し、旭山動物園の協力を得て実施するものである。

2 参画者

- (1) NPO法人ハマの JACK（以下「ハマの JACK」という。）
- (2) 横浜市立山内小学校 5 学年生徒 100 名（以下「小学生」という。）
- (3) 旭川市旭山動物園（以下「動物園」という。）

3 実施手法

- (1) 動物園からの提供動画作曲家、脚本家に見てもらい、音楽と曲の構成を考える。
- (2) 2月19日 音楽を収録
- (3) 2月25日 動物園と小学校のリモート交流
- (4) 動物園からの提供動画を参加する小学生に見てもらい、登場した動物の絵を描きまたその生態をも調べる。
- (5) 動画、描かれた絵そして音楽を一つの映像として融合する。
- (6) 融合された映像の映写会や、ホームページ等での公開、訪問演奏会等の実施を予定

4 狙い

- (1) 動物、いきものをよく観察する

飼育員が撮った映像を提供していただくことで、動物園に行った時だけではない動物の素顔、生態が見れ、それを観察することで親しみであったり、生き物について子どもたち個々が考えることにつながるものと考えている。

- (2) 音楽をつける

自分以外の人と同じものを見た時に違う見え方、表現方法をするという事を知ることは子どもたちの感性を刺激することにつながる。音楽は同じ映像でも、あるものとないものでは見え方が全く変わるので良い経験になると考えている。

- (3) 動物も生きている

人間だけではなく、動物も生きていることを改めて知ることはとても重要だと考える。コロナ渦でそのような体験の場が少なくなってしまうのが残念なのでこの機会に子どもたちには是非経験してほしい。

5 映像のポイント

(1) 映像として親しみやすい

どんなによい映像を子どもに届けても、ただ流すのではその良さが伝わりにくいと考える。

- ・子どもが絵を描くことで「いきもの」を観察し、興味をもつようにする。
- ・「いきもの」に音楽を作曲する。
- ・1つの「いきもの」につき1つの楽器を主役にする。今回は7つの楽器を使用するので7種類の「いきもの」が登場する。
- ・各楽曲の最大時間は3分以内とし、同じ演奏時間だとあきてくるので30秒の曲もあれば3分の曲もあるなどメリハリをつけた構成にする。
- ・ナレーションをいれる。

ナレーションを入れることにより「見て楽しい」動画となり、その結果動物たち、そして音楽が身近に感じられると考える。

(2) 登場動物たちの特徴を「説明」ではなく「感性」で感じてもらう

この動物はこうです、このようになっています、といった説明の動画ではなく、「動物の特徴」をいかした楽曲づくりをすることで「音楽」で子どもたちに動物の特徴や魅力を伝えます。「いきものの特徴」と「楽器の特徴」合わさることでより効果的に訴えかけることができます。(生態については正しく説明するコーナーを設ける必要があります、動物園とリモート交流を行う。)

(3) 一流メンバーによる演奏により「動物」、「音楽」に対しより興味を持ちやすくし、子どもたちの感性に訴えかける作品にする

NHK交響楽団メンバーを主体にすることにより、長年音楽づくりをしてきた経験が活かされ質の高いアンサンブルを届けることができる。音質が落ちている環境において、クオリティーの高い音楽は「クラシック音楽の素晴らしさ」を伝えるうえで必要不可欠な条件である。その条件をクリアした時、子どもたちが持つ感性により訴えかけることができます。

上述3つのポイントを達成できる動画を作成することによりクラシック音楽の素晴らしさ、楽しさを伝えることができ、豊かな心を育むきっかけの1つになると考える。

6 曲の構成

- (1) 序曲 (7種類の楽器で演奏)
- (2) トラ (ヴィオラ主役)
- (3) オラウータン (フルート主役)
- (4) ホッキョクグマ (チェロ主役)
- (5) テナガザル (クラリネット主役)
- (6) カバ (コントラバス主役)
- (7) 孵化 (ファゴット主役)
- (8) 鳥たち (ヴァイオリン主役)
- (9) 終曲 (いままでの登場したいきもの主題をつなげた合奏曲)

※動物や楽器の説明については特徴のポイント解説を別に収録。

7 ナレーション

プロのアナウンサー竹平晃子さんによるナレーション入りの作品にします。各いきものにキャラクター付けをし、より親しみやすい作品に仕上げます。楽器の一言解説も入れる予定。

8 出演予定者

別紙参照

9 作曲家

木村裕

桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業，同研究科卒業。

これまでに作曲を山本康雄，三瀬和朗，新実徳英，ピアノを井下幸枝，三瀬あけみ，指揮を黒岩英臣各氏に師事。第23回，第26回名古屋文化振興賞共に優勝。

交響詩「雅」が桐朋学園主催の演奏会で初演される。

現在，作曲では新しい絵本読み聞かせ作品のシリーズ化を中心に現代音楽，ジャズ，タンゴ，校歌，社歌などを手がけ，編曲では福島県田島教育委員会，東京音楽大学，桐朋学園大学，TSUKEMEN，ホルンアンサンブルヴィーナス，つの笛集団，日本センチュリー，東京室内管，愛知室内管，アンサンブル金沢，NHK，TBSなどに提供するほか，アニメ，映画，ゲーム等音楽のオーケストラ編曲によるステージ化に力を注いでいる。

魔法少女まどか☆マギカオーケストラコンサートチーフアレンジャー，ゲームシンフォニージャパン公式アレンジャー。

10 最後に

この企画は，ただ演奏風景を撮影しただけではなく，「いきもの」と「音楽」を合わせることでより効果的に子どもたちの感性に訴えかけることができ，「生命」について考える一つのきっかけになりえると考えている。

クラシック音楽は古くから音楽で風景や人物の描写をしてきました。それは聴き手が「知っているもの」に対し音で表現することで，聴衆が想像する面白さが生まれ，音楽そのものが身近に感じる事のできるからだと考えられます。

現在の社会状況下において，人間以外の動物たちを知ることは，地球環境問題を考えることの重要な一歩だと我々は考えています。観察して絵を描く，だけではなく音楽を加えることは様々な感性を刺激し，大人になってもその経験は何かしらの形で残り，より大きい効果を子どもたちの人生にもたらすことでしょう。

ヴァイオリン 三又 治彦

宮城県出身。桐朋学園音楽学部演奏学科卒業。2005年、ライブツィヒ室内管弦楽団と共演。2006年にNHK交響楽団に入団。現在ヴァイオリン次席奏者。2008年にはハマのJACK（現在は特定非営利活動法人）を仲間とともに立ち上げ、未来の音楽家支援を目的とした「金の卵プロジェクト」を実施。一流の音楽家達によるオーケストラのソリストを決める「金の卵ソリストオーディション」や年間15回に及ぶ「金の卵達によるサロンコンサート」の実施、名器の貸与等行っている。またクラシック音楽をより多くの人々が楽しめるよう家族で楽しめる音楽プロジェクトを精力的に企画し、親子で楽しめるオペラ「魔笛」、名作絵本に音楽を加えた朗読コンサート、地域に根差した「クリスマスキャロルコンサート」や動物の謝肉祭の現代版「野毛山動物の謝肉祭」等好評を博している。演奏活動だけではなくワークショップにも力を入れており、「ヴァイオリンを作ろう」を代表とするわくわく音楽工作室、プロの演奏家と共演できる「ハンドベルワークショップ」等小学校訪問演奏事業を含めるとこれまでのべ10000人以上の子供たちと音楽を通じて交流している。演奏活動においてはウィーンフィルハーモニー交響楽団メンバーとの室内楽共演、N響メンバーによるコンサートの他、各地でリサイタルを行っている。本格的なクラシック音楽の演奏会から親しみを持って楽しめる音楽コンサートまで多彩なプログラムを用意し、聴衆が心を動かされる演奏会を理念に活動している。NPO法人ハマのJACK理事長。

ヴィオラ 中村翔太郎

兵庫県三田市出身。

4歳よりヴァイオリンを始め、2005年、東京藝術大学附属音楽高校入学を機にヴィオラに転向。これまでにヴィオラを百武由紀、川崎和憲の各氏に師事。

第15回コンセール・マロニエ21弦楽器部門第1位、他多数入賞。サント・ヨーロッパ音楽祭に出演や、ウィーンフィル・ベルリンフィルメンバーと共演するなど国内外で活躍している。大阪フィルハーモニー交響楽団や日本センチュリー交響楽団、ベトナム交響楽団に客演首席奏者として出演。毎年地元の三田で「真冬の熱いクラシック」を主宰するなど関西方面でも積極的に活動している。

学内において、同声会賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。

北鎌倉女子学園非常勤講師、東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。

藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。Alto de Campagne(ヴィオラ四重奏)メンバー。東京藝術大学卒業。N響アカデミーを経て現在NHK交響楽団次席ヴィオラ奏者。

チェロ 中 美穂

京都市出身。桐朋女子高等学校を経て、同大学音楽学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了後、ベルリン芸術大学にて研鑽を積み、国家演奏家資格取得。これまでにチェロを津田朝子、井上頼豊、松波恵子、山崎伸子、マルクス・ニコシュの各氏に師事。第8回ビバホールチェロコンクール第4位、第77回日本音楽コンクールチェロ部門入選。2019年10月より、NHK交響楽団契約楽員。

コントラバス 本間 達朗

北海道札幌市出身。桐朋学園大学を首席で卒業。卒業時、皇居内桃華学堂にて御前演奏を行う。08年、NHK交響楽団に入団。14年、文化庁新進芸術家海外派遣員としてウィーンに留学。第7回日本演奏家コンクール第1位、第18回宝塚ベガ音楽コンクール第3位受賞。これまでに、藤澤光雄、西田直文、Herbert Mayrの各氏に師事。桐朋学園大学非常勤講師。

フルート 中村 淳二

幼少よりヴァイオリンを始め、12歳からフルートを始める。

2009年に京都市立芸術大学音楽学部管打楽器専攻を首席で卒業。卒業時には音楽学部賞、京都音楽協会賞を受賞。

卒業後、関西を中心にオーケストラ客演奏者として研鑽を積み、2010年に名古屋フィルハーモニー交響楽団にフルート・ピッコロ奏者として入団。2013年に内部の推薦を得て首席ピッコロ奏者に就任。

2014年にNHK交響楽団にフルート・ピッコロ奏者として移籍。現在に至る。

フルートを市川智子、大嶋義実の各氏に、ピッコロを菅原潤氏に師事。

現在はオーケストラの他に、フルート、ピッコロ両方でのソロ、室内楽の活動や、レッスンによる後進の育成にも当たっている。

クラリネット 松本 健司

パリ国立高等音楽院クラリネット科を“レオン・ルブラン特別賞”を得て卒業し本格的な演奏活動を始める。クラリネットを角田晃、濱中浩一、二宮和子、竹森かほり、ミシェル・アリニョン、ジェローム・ジュリアン=ラフェリエール、アラン・ダミアンの各師に、室内楽をダリア・オヴォラ、ピエール=ロラン・エマール、ジャン=ギアン・ケラスの各師に師事。第6回日本木管コンクール、第4回日本クラリネットコンクール、第22回トゥーロン国際音楽コンクールにおいて上位入賞し、2002年にNHK交響楽団に入団。現在首席クラリネット奏者を務める。また、室内オーケストラARCUS、トリオ・サンクァンシュのメンバーとして活躍する他、洗足学園音楽大学、東京音楽大学において後進の指導に力を入れている。

ファゴット 宇賀神 広宣

東京音楽大学付属高校、同大学卒業。ファゴットを霧生吉秀、菅原眸の両氏に、室内楽を植村泰一、中野真理、安原理喜の各氏に師事。東京文化会館新進演奏会デビューコンサートオーディションに合格。セントラル愛知交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団を経て、現在NHK交響楽団首席ファゴット奏者。愛知県立芸術大学、東京音楽大学非常勤講師。

ナレーション 竹平 晃子

竹平晃子 宮崎県出身。横浜市在住。中学1年生の時にNHK杯全国中学校放送コンテスト宮崎県大会の朗読部門で優秀賞を受賞し、アナウンサーを目指す。高校では音楽部(合唱・箏曲の合同)に所属し、合唱では第62回九州合唱コンクール銀賞、第1回声楽アンサンブルコンテスト全国大会銅賞ほか、多数のコンクールで入賞。箏曲では主に十七絃を担当し、

全国高校総合文化祭等に出場。また第36回宮崎県高等学校独唱・独奏コンクール声楽部門では銅賞を受賞。2013年、TNCテレビ西日本に入局。報道部所属のニュースリポーター・キャスターとして活躍。2015年にNHK横浜放送局キャスターへ。総合テレビ「ひるまえほっと」「首都圏ネットワーク」「おはよう日本」に出演。FM放送「横浜サウンド☆クルーズ」では、自身の経験を生かしクラシック音楽&舞台芸術コーナーを担当。ラジオ第一放送(全国放送)「はま☆キラ!」のパーソナリティーも務めた。2020年3月をもってNHK横浜放送局を卒業し、フリーアナウンサーとして活動をスタート。レポートやインタビュー、クラシック音楽や伝統芸能公演のナビゲーター、オーケストラ等とコラボレーションした語りを行っている。2018年にピアニスト伊藤慧と、サウンドインレーベルよりCD『ぞうのババール~音と言葉の物語~』をリリースしたのをきっかけに、「ピアノと読み声一紋音一」を結成。紋音は2020年4月より、横浜市鶴見区民文化ホール・サルビアホールアーティストとしても活動中。(株)ライムライト所属フリーアナウンサー。